

会 議 記 録

会 議 の 名 称	議会改革特別委員会
開 催 日 時	令和7年7月24日（木） 午前10時00分から午前12時00分
開 催 場 所	宮代町役場 議会室
出席委員の氏名	委員長 合川 泰治 副委員長 野原 洋子 委 員 丸山 妙子 福澤 和美 小島 あけみ 塚村 香織 川野 武志 議 長 田島 正徳
出席職員の名 職 ・ 氏 名	議会事務局長 押田 昭浩 主 幹 関根 雅治 主 任 金子 尚子
会議の公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
一部公開又は 非公開の理由	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否
傍聴者の人数	1名
会議資料の名称	次第
記録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
審 議 の 内 容	(1) 第7回委員会の確認について 【決定事項】 ・資料1のとおり実施していく。 (2) ペーパーレス会議システムについて 事務局から導入及びランニングコストの費用、システムの容量についての説明があった。 (委員長) ・点数はいくらかSideBooks（サイドブックス）の方が高かった。 ・本日どちらかに決定して進めていきたい。 (塚村委員) ・来年度以降端末の取り扱いは。 (委員長) ・一人一台利用していく。改選があってもその端末は利用されていく。 (野原副委員長)

・年に4回しかない定例会でも費用はかかってくるのか。
 (事務局)

・説明したとおりの金額がかかる。
 (丸山委員)

・端末は何年ぐらい使用できるのか。購入または、リースについての考えは。
 (事務局)

・使用限度は5年程度だと考える。メンテナンスを考えると、リースの方が手間がかからないのではと考える。
 (福澤委員)

・採決システムの導入は考えているのか。予算を考えるとなくともよいと考える。
 (塚村委員)

・起立するのが難しい方がいらっしゃる場合は配慮して取り入れたいが、今の状況では不要である。
 (小島委員)

・それぞれのシステムのメリット、デメリットは。
 (事務局)

・システムの考え方、金額設定はそれぞれの会社によって違うので事務局としては言えない。
 (川野委員)

・これまで紙でもらっていた執行部からの資料はどうなるのか。
 (事務局)

・共通で使用する資料はすべてシステムに入るのでタブレットから閲覧できる。
 (塚村委員)

・システム導入の先進地である取手市はSideBooksを導入しているので、今後も参考にさせてもらいたい。
 (丸山委員)

・金額によって予算がつかないことがあるのか。
 (事務局)

・議会改革特別委員会で決定したことをふまえて担当と調整していく。
 (福澤委員)

・システムのシェアが多い方がよいと思う。
 (福澤委員)

・資料を探しやすい方を選びたい。
 (小島委員)

・多くの自治体が採用している方がよい。

【決定事項】

・採決システムはなしで決定する。
 ・ペーパーレス会議システムはSideBooksで進めていく。

(3) 政務活動費に関する検討について
 (委員長)

条例案について意見、気になった点をお願いしたい。

	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉戸町を参考にしている。交付先については原則は会派とし、会派に所属していない議員については個人に交付している。 <p>(丸山委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会派に所属していても1議員ごとに個別に申請、報告できるのもいいのでは。 <p>(川野委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自提出でも会派で取りまとめてもいいのではないか。 <p>(野原副委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらのパターンでもよいと思う。 <p>(塚村委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2パターンでよいと思うが、会派でのやり方は。 <p>(合川委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会派で話し合って決めていただく。 <p>(合川委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前のやり方だと月5,000円が振り込まれていた。 <p>(福澤委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その都度払いでの会派の場合は。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉戸町は使ったときに、使った後に都度払いをしている。申請は事前、事後でもどちらでもよい。 <p>(小島委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会派で決めることで問題ないのでは。 <p>(合川委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動費を使ったら、領収書等を持参して申請する。 <p>【決定事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(案)を参考にし、継続して審議していく。 <p>(4) 常任委員会の活動について (総務文教・福祉産業)</p> <p>(野原副委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視察研修会が主な活動だった。行き先等を検討していくための委員会を開催していくのはどうか。また、議員間の話し合いの機会を設けてはいかがか。 <p>(川野委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫宮駅近くのスーパーを例にすると、跡地は地権者が決めることである。町ではなく、地元聞くのが議員の仕事だと思っている。 <p>(野原副委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員間で交流を深めていくと活動しやすい。 <p>(丸山委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会を定期的で開催し、話し合いや課題を共有し、解決していくのがいいのでは。 <p>(野原副委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人の議員の知識を補い合うのはいいことである。 <p>(塚村委員)</p>
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動を活発にしていくのがいい。そこで出た課題等が視察につながっていけるとよい。 (丸山委員) ・委員会視察は提案が出た 【決定事項】 ・委員長を中心に、委員会の活動について方針を決めていく。 (5) 若い世代に向けた活動について (小島委員) ・羽生市議会では中学生を対象に出前講座を行っている。 ・春日部市議会では高校生との懇談会を行っている。 (川野委員) ・曜日についてはどう考えるのがいいのか。 (小島委員) ・春日部市は12月、市内の高校の生徒会が中心である。 (丸山委員) ・羽生市の出前講座は議会で大きな活動になっている。 (塚村委員) ・出前講座で子どもたちの意見を聞くのはどうか。 (福澤委員) ・研修会の講師のお話から子ども議会は有意義だと聞いている。 【決定事項】 ・若い世代への出前講座や懇談会については対象者を決めて相手の声に耳を傾けることを前提とし、検討していく。 (6) その他 7月28日(月)開催の議会運営委員会、議会改革特別委員会合同視察研修会への事務連絡を行った。
その他必要事項	